

(6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

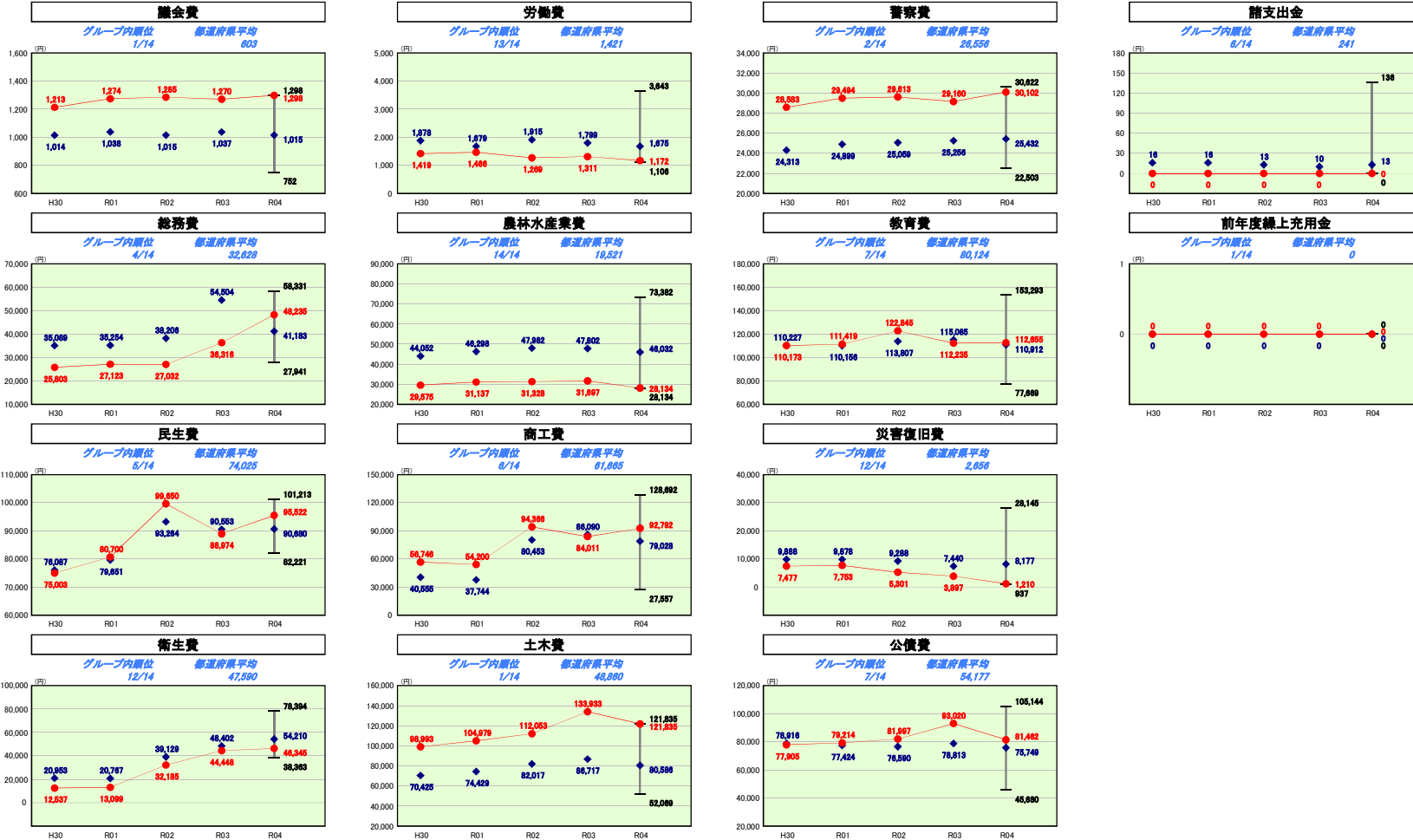
令和4年度

和歌山県

人口	924,469人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	916,597人(05.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	4,724.69km ²	実質公債費比率	8.4%
歳入総額	682,895,167千円	将来負担比率	200.1%
歳出総額	637,231,552千円	グループ	H30 D R01 D R02 D
実収支	18,125,408千円	(年度毎)	R03 D R04 D
標準財政規模	305,574,798千円		
地方債残高	1,067,379,832千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって3つに分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概
 令和4年度の歳出決算総額に対する住民一人当たりのコストは、689千円となっており、前年度の688千円と比べ1千円の増加となっている。
 前年度との比較では、土木費が防災・減災、国土強靱化の推進に係る公共事業の減少等により12,098円の減少、公債費が前年度に多額の繰上償還を行っていたため11,558円の減少となっている。一方、総務費が公債費臨時対策基金の創設・積立てや防災ヘリコプターの更新等により11,919円の増加、商工業がわかまりフレッシュプランズや営業時間短縮要請協力金の増加等により8,781円の増加となっている。